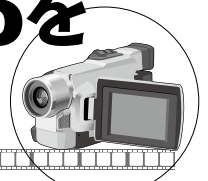


# 教室で One Minute Video を作ってみよう!



【図表1】 1min MPS (Media Production Studies)

「メディアを作成する過程における学びの研究」フローチャート (東海大学 五嶋正治氏)

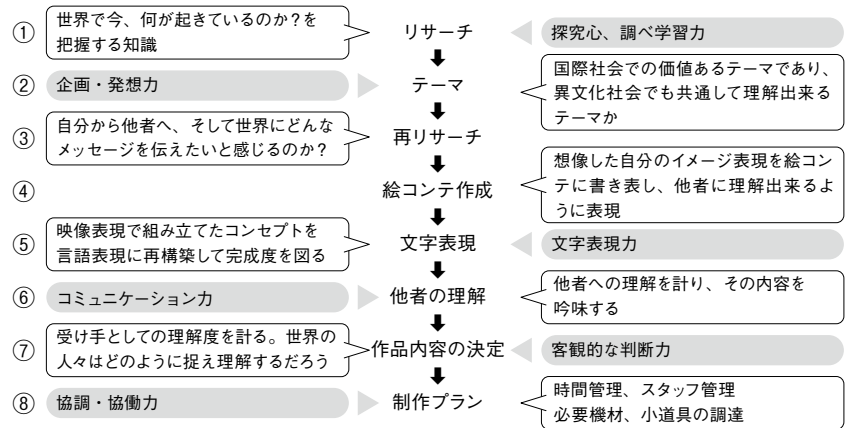
日本ユニセフ協会では1分間の映像制作を通じて、子どもたちの協調性、創造力、表現力などを育てたいと願っています。One Minute Video の制作には色々な方法がありますが、One Minute Video の制作指導に経験が豊富で、メディア・リテラシーを専門とする、東海大学文学部広報メディア学科准教授の五嶋正治氏が作成したフローチャート【図表1】に従い、学校でこの活動を行うことを推進しています。

この工程は4段階から成り立ちます。**1** プリ・プロダクション **2** プロダクション **3** ポスト・プロダクション **4** ビューイングの4段階です。段階**1**では、まず教室の子どもたちを5～6人1チームにし、チームの1人ひとりに、企画のための絵コンテシートが配布され、各自が企画を練り上げます。その後、お互いのアイデアを提案し合い、話し合いを通じて原案を決定します。そして、段階**2**で構成や内容に沿った素材をカメラで撮影していきます。

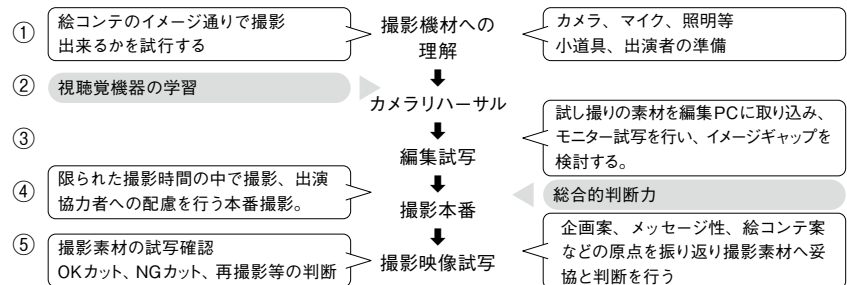
さらに、段階**3**で、取材した多くの映像を、順番や各場面の長さを考え、編集していきます。編集の過程では、著作権がかからないバックグラウンドミュージックをどうかぶせ、音響をどのように効果的に入れるか、字幕を使うのかなどの作業をパソコンのソフトを活用して行います。段階**4**のビューイングで、完成したお互いの作品を鑑賞し、感想を述べ合い、作品の発表公開へとつなげていきます。このビューイングのプロセスは、子どもたちのメディア・リテラシーを育むのに大きな力となります。

One Minute Video の制作を通し、メディア・リテラシー教育を是非実践してほしいと願っています。

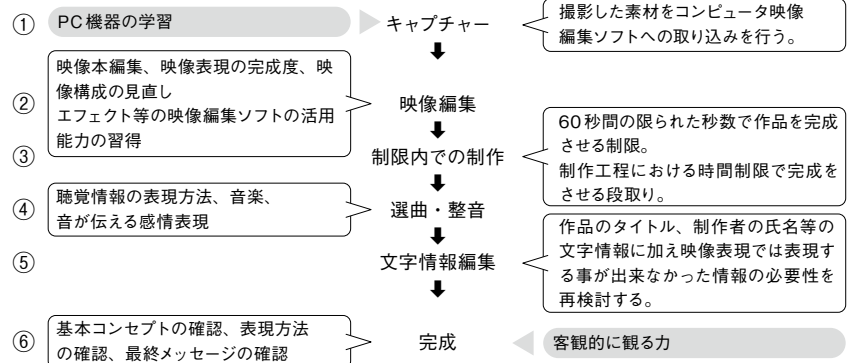
## 1 プリ・プロダクション 企画・リサーチ・構成



## 2 プロダクション 映像撮影・ラッシュ試写



## 3 ポスト・プロダクション 映像編集・オーディオ編集



## 4 ビューイング 作品の上映・発信

